

苫前町における
平成25年度全国学力・学習状況調査の結果

平成26年 2月

苫前町教育委員会

平成25年8月27日、北海道教育委員会から、北海道の公立学校における調査結果の概要として、「平成25年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」が公表された。

苫前町教育委員会では、この調査結果を受けて苫前町の学力・学習状況を把握し、各学校における指導の工夫改善に生かすために、調査結果の概要をまとめたものである。

◆ 平成25年度全国学力・学習状況調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

ア 小学校調査

- ・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

- ・中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題〔国語 A、算数・数学 A〕
- ・主として「活用」に関する問題〔国語 B、算数・数学 B〕

2) 質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査期日

平成25年4月24日（水）

6 調査実施した学校・児童生徒数

【調査】 全国

区分	対象学校	学校数（実施率）	児童生徒数
小学校	20,746	20,590 (99.2%)	1,121,164
中学校	10,711	10,184 (95.1%)	1,070,833
合計	31,457	30,774 (97.8%)	2,191,997

調査には私立学校を含む。

7 児童生徒調査の質問内容（質問紙調査）

学習に対する関心・意欲・態度。総合的な学習の時間。学習時間等。学校生活等。家庭でのコミュニケーション。社会に対する興味・関心。自尊意識。規範意識等。

■ 苫前町の全国学力調査結果の概要

1 児童生徒の学力状況の概要

【小学校】

区 分	国語A知識 正答率(%)	国語B活用 正答率(%)	算数A知識 正答率(%)	算数B活用 正答率(%)
全 国	62.7	49.4	77.2	58.4
北海道	60.4	46.4	74.9	54.0
苫前町	66.7	52.7	81.8	55.6

(1) 国語A 主として「知識」に関する問題

- * 全道平均を6.3ポイント上回っている。
- 特に平均正答率が高いものは、設問1一「漢字を正しく読む」(100%)、設問2二「ことわざの意味を理解する」(100%)などの問題である。
- 課題が見られるものは、設問3一「文の定義を理解する」(19.2%)や、設問3二(1)「文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」(26.9%)で、文の構成を捉えることが重要である。
- * 今後は、文の初めや終わりを意識することや接続語を使って1文を2文に分けて書くことができるように指導する必要がある。

(2) 国語B 主として「活用」に関する問題

- * 全道平均を6.3ポイント上回っている。
- 特に平均正答率が高いものは、設問1一「相手の立場や状況を感じ取って聞く」(84.6%)の問題である。
- 課題が見られるものは、設問2二「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く」(19.2%)や、設問2三「目的や意図に応じ、複数の内容を関係づけながら自分の考えを具体的に書く」(30.8%)などで、他の設問と比べ大きく落ち込んでおり、自分の考えを書き表していくことに慣れることが重要である。
- * 今後は、読解力を高める指導をすると共に、自分の考えが伝わるように書くことができるよう繰り返し指導する必要がある。

(3) 算数A 主として「知識」に関する問題

- * 全道平均を6.9ポイント上回っている。
- 特に平均正答率が高いものは、設問1(7)「乗数が整数である場合の分数の乗法の計算

をする」(100%)や、設問5(1)「曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計器を理解している」(100%)である。

- 課題が見られるものは、設問5(2)「1アールの面積と等しい正方形の一辺の長さを理解している」(46.2%)で、面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めていくことができるようにすることが重要である。

* 今後は、面積の単位(平方センチメートル、平方メートル、アール、平方キロメートル)について理解を深めることや、いろいろな条件下での平面図形の面積の求め方を考えさせる必要がある。

(4) 算数B 主として「活用」に関する問題

* 全道平均を1.6ポイント上回っている。

- 特に平均正答率が高いものは、設問4(2)「示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定することができる」(96.2%)である。

- 課題が見られるものは、設問2(1)「示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している」(26.9%)、設問2(3)「表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述できる」(23.1%)、設問4(1)「単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる」(34.6%)などである。

* 今後は、平均を求める目的と求め方の手順を明確にし、それに基づいて立式する力を高めると共に、見出した二つの数量の関係が比例しているかどうかについて、表の数値を根拠として記述したり、割合に関する問題解決の場面で(基準量)×(割合)=(比較量)の関係を根拠にして、式や言葉で記述したりできるようにする必要がある。

【中学校】

区分	国語A知識 正答率(%)	国語B活用 正答率(%)	数学A知識 正答率(%)	数学B活用 正答率(%)
全国	76.4	67.4	63.7	41.5
北海道	76.0	66.2	62.3	39.1
苫前町	70.5	54.4	51.9	28.3

(1) 国語A 主として「知識」に関する問題

* 全道平均より、5.5ポイント低い正答率となっている。

- 特に正答率が高いものは、設問8四「行書を楷書で書く」(100%)設問8三カ「適切な語句を選択する」96.7%。設問1一「話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する」93.3%などの問題である。相当数の生徒ができています。

- 課題が見られるものは、設問8三ア「適切な語句を選択する」36.7%で、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる指導。設問3二「出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く」40.0%で、文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にする指導。設問8七1「『かすみ』や『雲』のように見えたものを本文中から抜き出す」

46.7%で、比喩を用いた表現について理解する指導等が考えられる。

(2) 国語B 主として「活用」に関する問題

* 全道平均より、11.8ポイント低い正答率となっている。

○ 正答率が高いものは、設問2「エヌ氏の生活について説明した言葉を本文中から抜き出す」63.3%である。

● 課題が見られるものは、設問1三「『かるた』について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く」46.7%で、課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることができる指導の実践が求められている。

(3) 数学A 主として「知識」に関する問題

* 全道平均より、10.4ポイント低い正答率となっている。

○ 特に正答率が高いものは、設問4(1)「長方形の2倍の拡大図をかく」90.0%であり、相当数の生徒が理解できている。設問1(2)「 $5 \times (4 - 7)$ を計算する」76.7%。設問5(2)「与えられた見取図から、その立体の投影図を選ぶ」76.7%である。

● 課題が見られるものは、設問14(2)「6月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める」10.0%で、代表値・相対度数の必要性和意味について理解できるようにしたい。設問9「 y が x の関数である事象を選ぶ」16.7%で、関数は、日常的な事象の中において多く見られたり用いられたりするため、関数についての理解を深めることが大切である。設問15(1)「1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ」20.0%で、確率を用いて不確定な事象をとらえられようにするために、起こりうる全ての場合の数とその事柄が起こり得る場合の数を正しく数え上げられるようにしたい。

(4) 数学B 主として「活用」に関する問題

* 全道平均より、10.8ポイント低い正答率となっている。

○ 正答率の高いものは、設問3(1)「水を熱し始めてから10分間で上がった温度を求める」56.7%である。

● 課題が見られるものは、設問6(3)「基石全部の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する」6.7%で、事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することが求められる。設問3(2)「与えられた表やグラフを用いて、水温が 80°C になるまでにかかる時間を求める方法を説明する」13.3%で、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できる能力を養う必要がある。設問2(2)「2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和について予想した事柄を表現する」13.3%で、発展的に考え、予想した事柄を説明することができる能力を養う。設問1(2)「45歳の優子さんのお父さんとお母さんの安静時心拍数の差が10のときの、二人の目標心拍数の差を求める」13.3%で、言葉で表された式の特徴を捉え、その数学的な意味を考え、事象を式の意味に即して解釈することができる能力を身につけなければならない。

2 児童生徒の学習状況の概要

[学習状況調査結果の傾向]

質問紙調査は、子どもたちの生活習慣や学習環境などについての質問で構成されており、学習意欲、学習環境、生活の諸側面等に関する調査内容となっている。

本調査において、「している」「どちらといえばしている」と肯定的に解答した児童生徒が80%を超えたものを高い傾向、60%未満を低い傾向として分類した。

◆ 苫前町の児童生徒が高い傾向（80%以上）を示した質問事項

○ 小学校・中学校共通

- * 朝食を毎日食べている。
- * 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- * ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある。
- * 友達に会うのは楽しい。
- * 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。
- * いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- * 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- * 国語の勉強は大切だと思う。
- * 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

○ 小学校のみ

- * 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- * 将来の夢や目標をもっている。
- * 家の手伝いをしている。
- * 学校の宿題をしている。
- * 今住んでいる地域の行事に参加している。
- * 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- * 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。
- * 算数の勉強は大切だと思う。
- * 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- * 言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題では最後まで解答を書こうと努力した。

○ 中学校のみ

- * 家の人と普段、夕食を一緒に食べている。
- * 数学ができるようになりたい。
- * 数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている。

◆ 苫前町の児童生徒が低い傾向（60%未満）を示した質問事項

○ 小学校・中学校共通

- * 自分には、よいところがあると思う。
- * 自分で計画を立てて、家で勉強している。

- * 学校の授業の予習をしている。
- * 学校の授業の復習をしている。
- * 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- * 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。
- * 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思わない。
- * 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。
- * 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。

○ 小学校のみ

- * 国語の勉強は好きだ。

○ 中学校のみ

- * 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- * 学校に行くのは楽しいと思う。
- * 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っている。
- * 普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている。
- * 数学の勉強は好きだ。
- * 数学の授業の内容はよくわかる。
- * 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- * 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- * 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている。
- * 言葉や式を使って説明する数学の問題で、最後まで解答を書こうと努力した。

◆ 苫前町の児童生徒が全道より5ポイント以上高い傾向を示した質問事項

○ 小学校・中学校共通

- * 今住んでいる地域の行事に参加している。
- * 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。
- * 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。

○ 小学校のみ

- * 学校の宿題をしている。
- * 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。
- * 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- * 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。
- * 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。
- * 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いて

いる。

- * 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- * 言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題では最後まで解答を書こうと努力した。

○ 中学校のみ

- * 家の手伝いをしている。
- * 国語の勉強は好きだ。
- * 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- * 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

◆ 苫前町の児童生徒が全道より 20 ポイント以上低い傾向を示した質問事項

○ 小学校・中学校共通

- * 学校に行くのは楽しい。

○ 小学校のみ

- * 自分には、よいところがあると思う。

○ 中学校のみ

- * 家で、学校の宿題をしている。
- * 数学の勉強は好きだ。
- * 数学の授業の内容はよく分かる。

〔 児童生徒質問紙から読み取れる傾向 〕

質問内容		児 童	生 徒
＜月～金曜日＞の起きる時刻（最多）		6時～6時半	7時～7時半
＜月～金曜日＞の寝る時刻（最多）		22時～23時	23時～24時
睡眠時間（最多）		9～10時間	6～7時間
＜月～金曜日＞1日あたり 「テレビやビデオ・DVD」を 見たり聞いたりする時間	2時間以上	58%	40%
	4時間以上	31%	30%
月～金曜日、1日あたり 「インターネット」をする 時間	1時間以上	50%	40%
	4時間以上	12%	17%
携帯電話やスマートフォンを持っている		47%	70%
＜月～金曜日＞1日あたり 学校以外での学習時間（1時間以上）		58%	30%
休日1日あたりの学習時間（1時間以上）		69%	40%
学習塾（家庭教師含む）で勉強している		19%	7%
土曜日午前の過ごし方	（最多）	家でテレビやビデオ・ DVDを見たり、ゲーム をしたりしている。	学校の部活動に参加し ている。
土曜日午後の過ごし方	（最多）	友達と遊んでいる。	家でテレビやビデオ・ DVDを見たり、ゲーム をしたりしている。
月～金曜日、1日あたり 読書をする時間	30分以上	38%	43%
	2時間以上	4%	7%
昼休みや放課後、休日に、本を読んだり、借 りたりするために、学校図書館や地域の図書 館へ月1回以上行く		58%	30%

〔 質問紙調査の結果 〕

<学習に対する関心・意欲・態度>

- 「国語の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生はほぼ同じであったが、中学生では低い結果であった。
- 「算数・数学の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生はほぼ同じであったが、中学生では低い結果であった。

<学習時間等>

- 学校の授業時間以外の勉強時間（月～金曜日）は、全道と比べ小学生では高かったが、中学生では低い結果であった。
- 学校の宿題をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では高かったが、中学生では低い結果であった。
- 読書が好きな児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では低かったが、中学生ではほぼ同じであった。
- 1日あたり30分以上読書をする児童生徒の割合は、全道と比べ小学生はほぼ同じであったが、中学生では高い結果であった。

<基本的な生活習慣>

- 朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共ほぼ同じであった。

<家庭でのコミュニケーション>

- 家の人と学校での出来事について話をする児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共ほぼ同じであった。